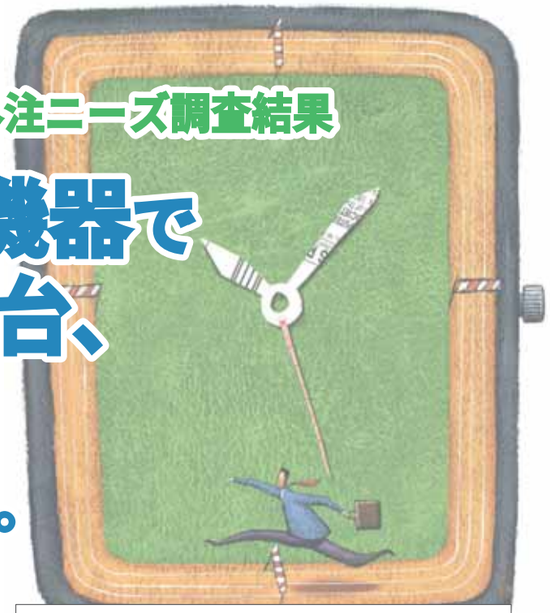
マンスリープロジェクト monthly project

【特集】
県内主要発注企業外注ニーズ調査結果

一般機器、輸送機器で「多忙」が30%台、見通しは半導体、精密機器が生産減か。



当センターでは県内の主要発注先を対象に「外注ニーズ調査」を実施しました。

受注活動の参考としていただくため、以下に調査結果の概要をお知らせします。

なお、後半に掲載している「発注案件」の詳しい内容については、育成支援グループにお問合せください。

調査について

目　的	県内主要発注企業の外注状況及び下請企業に対する技術・加工等のニーズを把握し、下請取引紹介・あっせんの円滑化に資すること。
対象企業	岩手県内所在の発注を主とする登録企業102社
調査方法	訪問によるヒアリング調査
調査時点	平成17年2月
コメント	製造分野別では、回答企業が5社以下である「農林機器」「住宅関連」「その他」についてはコメント(解説)していない。

生産状況

(1)現況

回答企業102社の生産の現況を生産品目総数289品目についてみると、「多忙」とする品目が59品目で20.4%（前年度66品目20.3%）、「適正」が136品目で47.1%（前年度165品目で50.8%）、「余力あり」が94品目で32.5%（前年度94品目28.9%）となっており、前年度と比較して「多忙」が7品目0.1ポイント減少、「適正」が29品目3.7ポイント減少、「余力あり」が品目数は同じで3.6ポイント増加している。（図1）

これを製造分野別にみると、「多忙」としているのは輸送機器が30.8%(前年度14.0%)、一般機器が30.3%(前年度33.8%)となっている。「適正」は半導体が73.7%（前年度36.4%）で最も高く、次いでOA機器が68.2%（前年度48.1%）となっている。「余力あり」は、電気音響が63.2%（前年度37.5%）で最も高く、次いで精密機器が60.0%（前年度42.1%）、通信機器が53.8%（前年度47.1%）となっている。（図2）

図1　生産の現況（全289品目）

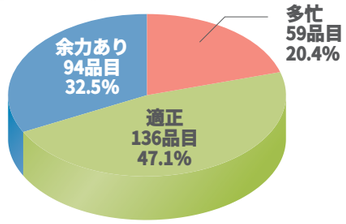
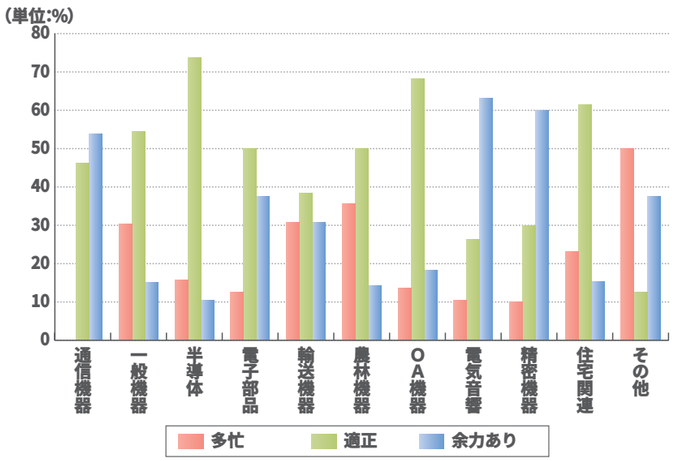


図2　生産の現況（製造分野別）



(2) 見通し

今後の見通しを生産品目総数289品目についてみると、「上昇」が43品目14.9%（前年度64品目19.7%）、「横ばい」が161品目55.7%（前年度205品目63.1%）、「減少」が85品目29.4%（前年度56品目17.2%）となっており、前年度に比較して「上昇」が21品目4.8ポイント減少、「横ばい」が44品目7.4ポイント減少、「減少」が29品目12.2ポイント増加している。（図3）

これを製造分野別にみると、「上昇」は輸送機器が28.2%（前年度7.0%）で最も高く、次いで電子部品が20.8%（前年度7.4%）となっている。「横ばい」は一般機器の77.3%（前年度48.6%）が最も高く、次いでOA機器の59.1%（前年度59.3%）、通信機器の53.8%(前年度47.1%)となっている。「減少」は精密機器が55.0%（前年度31.6%）で最も高く、次いで半導体の52.6%（前年度0.0%）となっている。（図4）

外注状況

(1) 外注企業数

回答企業102社が外注している企業の数は3,525社（延べ数、以下同じ）あり、これを県内外別にみると、「県内」が1,171社で33.2%（前年度1,278社38.9%）、「県外」が2,354社で66.8%（前年度2,011社61.1%）となっており、県外企業が343社5.7ポイント増加している。（図5）

これを製造分野別にみると、一般機器が809社で最も多く、次いで精密機器が703社、電気音響が358社となっている。

また、県内外別で県内企業の割合が高い製造分野は、半導体が100社で48.8%、音響機器が168社で46.9%となっている。

逆に県外企業の割合が高い分野は、精密機器の615社が87.5%と最も高く、次いでOA機器の192社73.0%、電子部品の216社67.9%となっている。（図6）

図3　生産の見通し（全289品目）

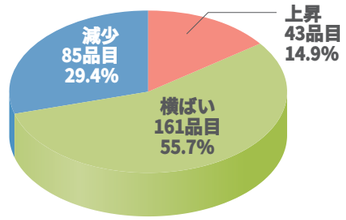


図4　生産の見通し（製造分野別）

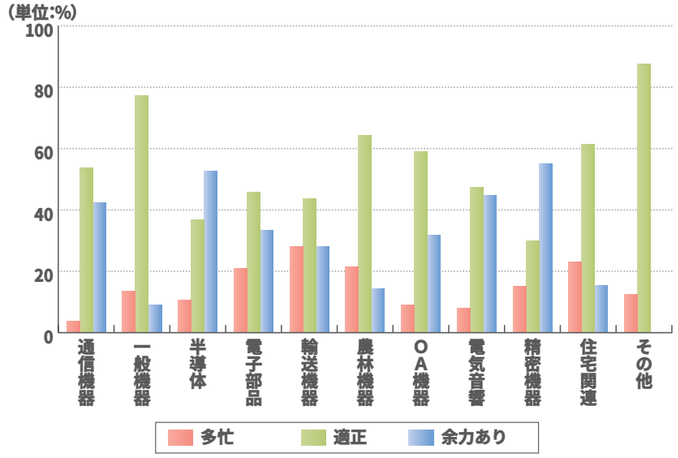


図5　県内外別外注企業数（合計3,525社）

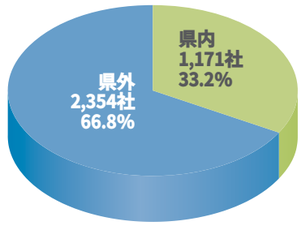
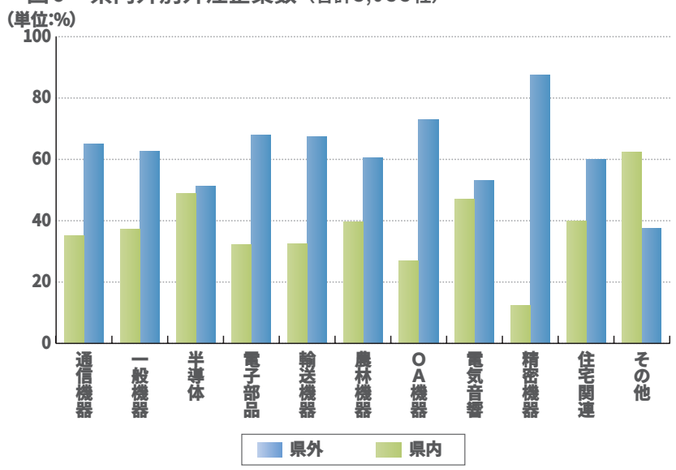


図6　県内外別外注企業数（合計3,055社）



（2） 外注金額

回答企業102社の1年間の外注総額は、4,013億4,533万円（前年度は117社で3,198億8,548万円）となった。

このうち県内外注は701億8,273万円で17.5％（前年度694億3,065万円21.7％）、県外外注は3,311億6,260万円で82.5％（前年度2,504億5,483万円78.3％）となっている。（図7）

これを製造分野別にみると、県内への外注が多いのは半導体が53.8％と最も高く、次いで電子部品が42.6％、電気音響が41.0％となっている。

一方、県外への外注についてみると、輸送機器が92.3％で最も高く、次いでOA機器が90.8％、精密機器が81.3％、一般機器が80.1％となっている。（図8）

また、県内への外注金額のうち半導体と輸送機器の2製造分野で452億9,363万円となり、全体の64.5％を占めている。

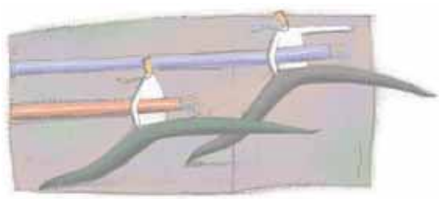


図7　県内外別外注金額（合計4,013億円）

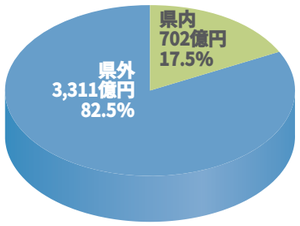
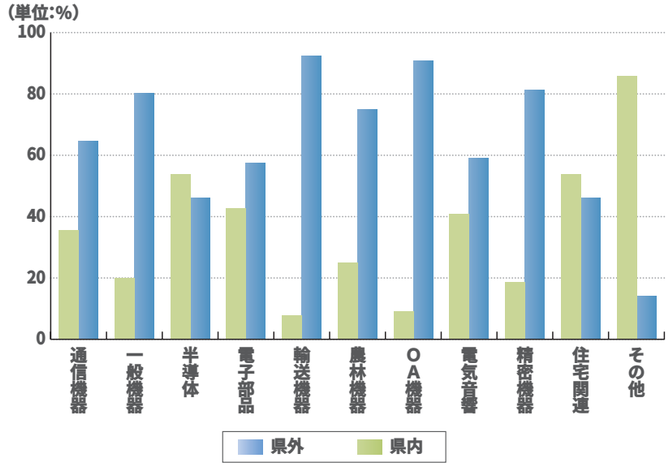


図8　製造分野別外注金額の割合



外注している加工内容

回答企業102社が外注している加工内容をみると、メッキが79社77.5％と最も高く、次いで熱処理の55社53.9％、旋盤切削の53社52.0％となっている。（図9）

これを県内外別にみると、県内はメカ組立が71.1％と最も高く、次いで設備メンテナンスの70.0％、平面研削の61.9％となっている。県外は冷間鍛造が100.0％と最も高く、次いでゴムライニングの85.7％、粉末冶金の80.0％となっている。（図10）

図9　加工内容別外注割合

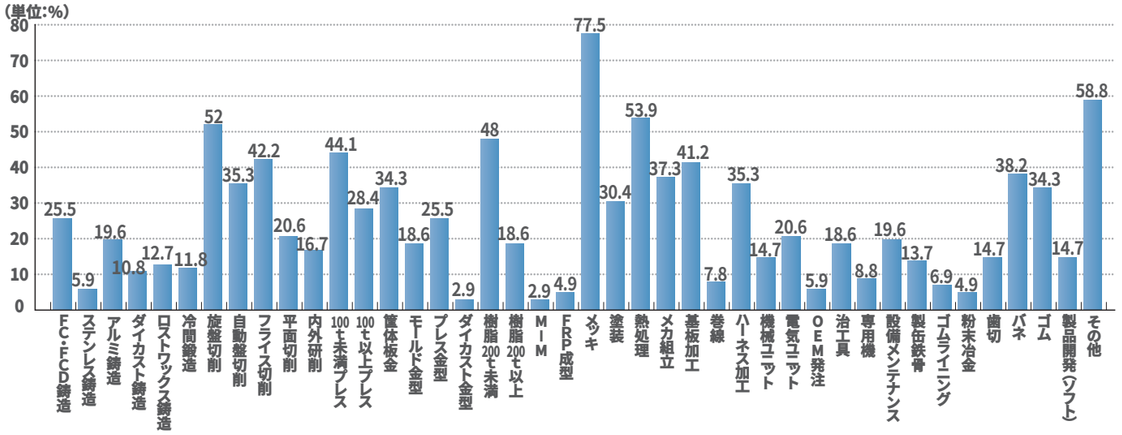
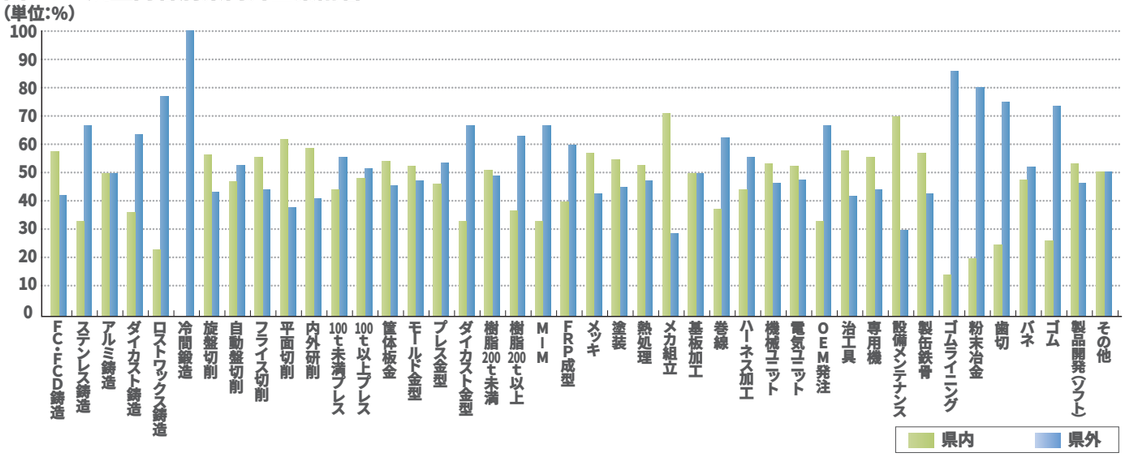


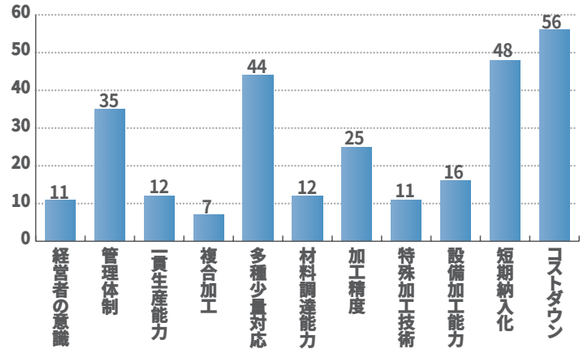
図10　加工内容別県内外企業割合



県内外注企業に対する要望

県内発注企業の県内外注企業に対する要望としては、「コストダウンへの対応力」が56社（54.9％）、「短納期化への対応力」が48社（47.1％）、「多種少量生産への対応力」44社（43.1％）が上位3項目であり、以下「管理体制のレベル」35社（34.3％）、「加工精度」25社（24.5％）となっている。（図11）

図11　外注企業に対する要望（複数回答）



発注案件

調査対象企業に「現在、県内企業に発注できる案件があるか」、「今後、新たに生じる発注案件があるか」について質問した結果は、次のとおりである。

（1）現在、県内企業に発注することが可能な案件

- ●編み立て／婦人衣料
- ●穴明・みぞ・メッキ・面取り／シャフトドライブ
- ●プレス（2000t）／扉意匠
- ●バフ研磨（無鉛ダイカストの鏡面仕上げ研磨）
- ●旋盤・フライス／小物部品
- ●旋盤・フライス・円筒研磨／撚線機部品
- ●配管組立
- ●精密機械加工／金型部品
- ●MC加工／空圧機器
- ●タレパン・アルミダイキャスト
- ●メッキ・切削・研磨等表面処理／ピストンリング
- ●成形研削・研磨／プレス金型部品
- ●特殊内外径研削加工
- ●塗装／情報端末・医療機
- ●フライス加工・MC加工・研削・板金／半導体製造装置部品
- ●切削加工／大型部品
- ●樹脂成形／コネクタ・プロテクタ・カー用ハーネス部品
- ●基盤加工（自動装着・デップ層対応）／通信機
- ●配線／制御盤
- ●組立・検査／ワイヤーハーネス
- ●超精密加工／コネクタ・成形品・プレス品・メッキ品
- ●板金加工・塗装／筐体
- ●1/1000台の超精密切削・研削・表面処理（真空焼入れ等）
- ●アルミ切削φ30～60
- ●一貫生産／情報・無線機器
- ●SMT～ASSY工程加工／基盤組立
- ●プレス・樹脂成形・切削

（2）今後、新たに生じる発注案件

- ●プリント・刺繍／婦人衣料
- ●組立用穴加工・ダボ穴加工・組立
- ●基盤設計／回路・ソフト含む
- ●MC・複合機加工／空圧機器
- ●切削加工等／スターリングエンジン（廃物利用装置）
- ●プレス・樹脂成形
- ●電気工事／工場内設備配線
- ●プレス・溶接・治具設計製作／自動車部品
- ●旋盤・フライス・穴あけ加工／ピン・シャフト
- ●プレス加工・スポット溶接・CO_2アーク溶接

お問合わせ先　育成支援グループ　TEL 019-621-5385　FAX 019-624-5480
URL http://www.joho-iwate.or.jp/torihiki/
E-mail sitauke@joho-iwate.or.jp